



Via Latina 22

2026 年 6 月 355 号

総本部よりのお知らせ－マリア会

内 容

マリア会、ペトロ・ナグ士の初誓願式	1
韓国地区での年次アジア・ゾーン評議会会議	3
ミゲル・アンヘル・コルテス師がヨーロッパ・マリアニスト協議会（MEC）議長に就任	4
シャミナード国際神学校での式典	5
養成担当者会議 - ナザレ・プログラム 2026.....	6
エリック・オティエンデ士が総本部共同体の院長に就任	8
良き父、「総長」シャミナード.....	9
出版物	12
ファウスティーノ	12
汚れなきマリア修道会総長の回章.....	12

マリア会、ペトロ・ナグ士の初誓願式

マリア会インド地区は、2026 年 5 月 12 日、修練者、ペトロ・ナグ士の初誓願宣立にあたり深い喜びと神への感謝のひと時を祝いました。この式典はニルマル・ディープの地区の修練院で行われ、マリアニスト家族と地元の教会にとって意味深い節目となりました。

2020 年、ペトロ士は、ビンダにあるマリアニストが主導する運転専門訓練学校、ジョヤル養成校に入学しました。彼が初めてマリアニスト共同体に出会ったのは、この 4 か月の間

でした。彼らのライフスタイルとカリスマに感動し、また、ホセ・ラモン・セバスティアン・デ・エリセ神父 (ES) に徐々に導かれ、彼はマリア会と共に修道召命を識別し始めました。

2022 年、ペトロ士はバンガロールのディーパハリでマリアニスト志願者プログラムに正式に加わりました。前修練期の養成を無事に終了した彼は、少し後の 2024 年 6 月 15 日、ニルマル・ディーブに入り正式に 2 年間の教会法上の修練期を始めました。

集中的な霊的養成を終えた後、ペトロ士は、マリア会の『生活の規則』による福音的勧告の誓願によって、自分の生涯を神に奉献しました。



左から：アミットとスジット（1年目の修練者）、ジヌ・ムトゥカッティル神父(修練長)、
プラカシュ・クジュール士(地区長)、ベトルス・ナグ士、イグナス・アルラッペン神父(副地区長)、
アレックス（1年目の修練者）、アジャイ・ソレン士(副修練長)、ビレンドラ・クル神父(修練院スタッフ)

荘厳ミサの祭儀が 10 時半に修練院の聖堂にて始まりました。副地区長で霊生部長、イグナス・アルラッペン師がミサ聖祭を司式し、地区長、プラカシュ・クジュール士が正式にその誓願を受け入れました。

約 160 名の招待者が、新たな誓願宣立者を見守り、祝うために集まりました。集まった人たちには、ペトロ士の家族メンバー、信徒マリアニスト共同体メンバー、それぞれの共同体からのマリアニスト修道女と修道者、そして地元の修道者が含まれていました。

式典の後、ニルマル・ディーブ共同体は温かい歓迎を全出席者に示し、兄弟的なお祝いの食事を分かち合い、そして神への召命に”はい“と応えたペトロ士の賜物を祝いました。

韓国地区での年次アジア・ゾーン評議会会議

2026年5月6日―7日とアジア・ゾーン議会（AZC）の責任者が韓国、ゴヤン市のマリアニスト共同体に集まり、福音宣教の共有、国際協調、そしてアジアにおけるマリア会の将来に視点を当てた年次評議会を開催しました。

インド地区の地区長でゾーン評議会議長、プラカシュ・クジュール士（IN）が韓国地区地区長、ドミニク・パーク師（KO）と日本地区地区長、洗礼者ヨハネ青木勲師と共にこの会議を主導しました。信徒マリアニスト、平田潔氏が日本語―英語の通訳でした。同様に、インド地区副地区長、イグナス・アルラッペン師（IN）、そしてゾーン書記でアジア・マリアニスト研究センターの所長、レニー・マルコース師（IN）が出席していました。

会議は最後の時点でハイブリット的方式に移りましたが、それはインドからの出席者がビザを入手が出来なかったからです―この問題は国際的な集まりにおいてますます頻繁に起こっています。彼らの欠席によって、ズームによる遠隔地からの参加が必要となりました。3つの異なる言語が話されることに伴い、参加者たちはリアルタイム通訳のためにAIの手段を頼みにしました。技術的な課題があったにも関わらず、この柔軟な方法は3か国間、3か国言語、そして2時間の時間差において生産的対話を可能にしました。この会議の成功はまた、この集まりを主催した韓国地区のマリア会員の綿密な準備計画と連携を反映していました。



左から：ドミニク・パーク、平田潔、洗礼者ヨハネ青木勲、イグナス・アルラッペン、プラカシュ・クジュール、レニー・マルコース、アンドレ・ジョゼフ・フェティス、デニス・パウティスタ

主要議題は、リーダーシップの発展、地区間の協調、アジア・マリアニスト研究センターからの現況報告、そして、ベトナムでの将来可能なマリア会創設のため現在行われている識別過程（時系列予定表、ロジスティックス、そして次の段階など）を含んでいました。

総長、アンドレ・ジョゼフ・フェティス師と教育局長、デニス・パウティスタ士がこの識別を支援するためこの討議に加わりました。霊的対話の方式に従い、彼らはこのステップがマリア会の将来のためになると考えるので、3つのアジアの行政単位の間での識別の分かち合いとより深い協調を助成し、このプロセスを導きました。

ミゲル・アンヘル・コルテス師がヨーロッパ・マリアニスト協議会（MEC）議長に就任



2026年4月8日―11日のマドリッドでの会議で、ヨーロッパの行政単位の責任者たちによって成された提案に基づき、総長は彼の評議員会の同意を得てミゲル・アンヘル・コルテス師を「ヨーロッパ・マリアニスト協議会（MEC）」の議長に任命しました。彼の任期は2025年7月1日に始まり、MEC規定に定められている通り5年間の期間となります。

彼は議長を退任するホセ・マリア・アルビラ士（ES）を引き継ぎます。私たちは、5年間に渡りヨーロッパの奉仕に尽くされたこと、マリアニスト生活への彼の情熱、およびリーダーシップと教育分野におけるその優れた経験に対して、アルビラ士に感謝します。2015年の総指導者会議以来、ゾーン協議会は議長の責任の下に全ての行政単位に共通の幾つかのプロジェクトを設置することを可能にしています。



それで、これらのプロジェクトのフォローアップのために、行政単位の責任者たちは彼らの権限を議長に委ね、議長は中心的な責任者の立場で行動出来ます。この場合、議長は総長によって任命されますが、それは彼（彼女）がこの教会法上の権限から効果的に恩恵を受けることが出来るためです。このことは採用された手続を説明します。

MECにとって、これらプロジェクトは特に若者の司牧と召命、修道者および私たちと一緒に活動している信徒のカリスマの面での養成、そしてヨーロッパの学校ネットワークの強化に関心があります。この協力は徐々に強化されることが期待されています。またMECの新しい議長の重要な任務の一つは、現在準備されているヨーロッパゾーンの再構築のプロセスを促進することです。

ミゲル・アンヘル神父はスペイン管区の管区長でした（2011年―2019年）、彼はまたスペイン管区のため養成と司牧の分野で大変活発に活動していました。彼は現在、ローマのシャミナード国際神学校の校長として2期目の任期を終えます、同時に彼はマリア会の総代理を務めていました。私たちは彼がこの新たな責務への奉仕を受諾された寛大さに感謝し、そ

して私たちの兄弟的支援を彼に約束します。

シャミナード国際神学校での式典

5月の月間にシャミナード国際神学校は2つの重要な式典を執り行いました：助祭叙階式そして、朗読奉仕者と祭壇奉仕者の選任式です。

助祭叙階式

5月9日、土曜日午後、ローマの「聖マリアの御名」小教区で次の7名の修道士の助祭叙階式が執り行われました：イヴ・アグバドゥ（コートジボアール）、パトリック・ケイヒル（メリバ）、クリストフ・ムボンデ（コンゴ）、エピディウス・ンゴサ（ザンビア、東アフリカ）、ギルバート・オカデ（ケニア、東アフリカ）、ダニエル・オレリヤナ（チリ、ラテンアメリカ）、そしてラウル・ルアンバ（ブルキナファソ、コートジボアール）です。叙階式は法王庁、典礼秘跡省次官、アウレリオ・ガルシア司教によって執り行われました。司教はその説教の中で、助祭叙階者に幾つかの重要なメッセージを送りました。彼は次の点を思い起こさせました：“助祭は敷居の人です；祭壇に近く、また生活の場に近い；典礼に近く、また世の中の痛みに近い。助祭は、慈愛のパンを分かち合うことなく聖体を裂くことは出来ない、ということをお願い起させます。” 更に、“叙階された役務は、ただキリストの心を反映しているかどうかだけが、意味を持ちます。イエスは群れを支配しません；彼は群れを知り、群れを愛し、群れを探します。彼は危険に直面して逃げません、彼は自分の命を捧げます。”



左から：パトリック・ケイヒル、クリストフ・ムボンデ、イヴ・アグバドゥ、ギルバート・オカデ、アウレリオ・ガルシア司教、ダニエル・オレリヤナ、エピディウス・ンゴサ、ラウル・ルアンバ

この叙階式には大勢の人々が参加しました。ローマのマリアニスト家族のマリア会員、FMIのシスター、そしてMLC/CLM会員に加えて、フランス地区長、ジャン・マリー・ルクレール、メリバ管区の管区長と副管区長、ジョセフ・ベリジとピーター・ハイスケル、そして又新しい助祭の出身行政単位の修道者たちが出席していました。フランス、USA、チリ、コートジボアール、そしてスペインから家族や友人たちが同様に出席していました。叙階された修道者に繋がる修道会共同体、友人たちそしてローマの知人も同様に式典に参加しました。コートジボアールは、ローマ在住のイタリア政府と法王庁の2名の大使が出席しまし

た。

私たちの施設の隣にあり私たち共同体が良好な関係を保っているロスミニアン神学校の聖歌隊がこの式典を盛り上げる手伝いをしてくれました。ミサ聖祭の終わりに、私たちは、小教区の有志グループによって素晴らしく準備された軽食を囲みながら和気あいあいのひと時を楽しみました。

マリアの賛歌に促されて、私たちは司祭への道程にあるこれら7名の兄弟たちの召命について神を讃えます。私たちは、叙階で頂いた賜物が彼らの生活の中で豊かな果実をもたらすよう主にお願ひ致します。

奉仕職選任式

5月29日、金曜日、ヴィア・ラティーナ22の2つの共同体が参加し、総長、アンドレ・ジョゼフ・フェティス師が司式したミサの祭儀の中で、3名の神学生が祭壇奉仕者として、また4名が朗読奉仕者として選任されました。



左から：アンリ・バラグ、フアン・パブロ・エスピノサ、ロメオ・アンバ、ニコラス・アツソグバ、
アンドレ・ジョゼフ・フェティス神父、アントニー・オウィノ、エマヌエル・サオバ、ジェリン・パナンタナム

祭壇奉仕者：ロメオ・アンバ（コートジボアール）、ニコラス・アツソグバ（トーゴ）、そしてアンリ・バラグ（トーゴ）

朗読奉仕者：フアン・パブロ・エスピノサ（メキシコ、US）、アントニー・オウィノ（ケニア、東アフリカ）、ジェリン・パナンタナム（インド）、そしてエマヌエル・サオバ（マラウイ、東アフリカ）

彼らの養成の歩みにおいて行われたこの段階の後、私たちはこれら新しい奉仕者を聖霊の働きとマリアの母としての保護に委ねます。

養成担当者会議 - ナザレ・プログラム 2026

5月18日からマリア会の養成者26名のグループが、教育局長、デニス・バウティスタ士と霊生局長、パブロ・ランボー師と共にケニア、ナイロビに集まりました。

総長評議委員会と行政単位の責任者たちは、私たちが体験している急速な生活習慣の変化（インターネット、SNS、AI など、、、）とともに、増々グローバル化され、増々、文化間相互作用の世界へと向かっている現在の状況に、私たちの養成をどのように適応させるかについてしばしば集まって考察する必要があることを理解しています。加えて、マリア会として、縮小し、増々国際化している私たちの状況は、私たちがしばしば私たちの考察と私たちが持っている力を分かち合うことを必要としています。



ナザレ会議に参加している養成担当者たちのグループは、GA の教育局長及び霊生局長と
ジュイジー・ピウス・エグンジョビ神父(中央、立っている)と共に

これら必要性和現実に応えてこの会議が開催され、6月3日まで継続しました。この会議はナイロビのディメッセ修道女会センターで行われました。

このグループは USA, ラテンアメリカ、コートジボアール、トーゴ、コンゴ、東アフリカ、インド、韓国の養成者の代表者たちから構成されており、またシャミナード国際神学校の副校長、エルヴェ・ダグボ土が加わっています。

この会議の主な目的は、特に初期養成の段階（最初の識別、前修練期、修練期と有期誓願期）における様々な養成の側面（人間的、霊的、修道者的、使徒的）を一緒に見直すことにあります。

最初の週は人間的側面に関するテーマに焦点が当てられました、このため私たちはナイロビの心理・霊性学的研究所の所長、ジュイジー・ピウス・エグンジョビ神父を招聘しました。午前中は、ジュイジー神父は「恵みに関する人間的基盤」、「自己認識」、および「感情的、情緒的成熟」などのテーマについて検討しました。午後は、養成課程にある志願者の実際の状況にこれらのテーマをどのように適用するか実例を上げて説明しながら、ケーススタディとして討議する小グループが持たれました。



東アフリカ地区の地区長評議員会のメンバー
マリア会の教育局長、霊生局長と共に

24 日、日曜日、聖霊降臨の大祝日、全グループがナイロビのマリア会地区本部修道院で行われたミサ聖祭に出席しました。このミサの中で、東アフリカ地区長評議員会のメンバーの就任式が行われました。パブロ・ランボー神父がミサの祭儀を司式しました。ナザレ・プログラムの出席者全員が、この地区の修道者、および他の多くの招待者に合流しました。

VL22 の次の号で、この会議の第 2 部について更なる情報を分かち合います。

エリック・オティエンデ士が総本部共同体の院長に就任

5 月 9 日、土曜日、共同体全員が出席した朝の祈りで、エリック・オティエンデ士が総本部共同体の新たな院長として就任しました。彼はアントニオ・ガスコン師の後任です、私たちは、ガスコン師にこの長年の責務の奉仕について感謝します。



エリック・オディアンボ・オティエンデ士はケニア出身で、彼は 1974 年にそこで生まれました。彼は東アフリカ地区に属しています。彼は 2000 年に初誓願を、そして 2006 年に終生誓願を宣立しました。ケニアで彼は、英語と英文学、宗教教育、そして心理カウンセリングについて学びました。アメリカで、彼は「教育的リーダーシップ」の修士号を得て、そして最近、デイトンのマリアニスト研究センター（NACMS）でのマリアニストカリスマの新たな専門家を準備する集中養成に参加しました。ケニアとザンビアで、彼は尊者ファウステ

イーノの模範に触発された青少年のグループと共に活発に活動してきました。彼は東アフリカ地区長評議員会で教育部長、および副地区長でした；また彼は長年ナイロビの学生修道者共同体の院長を務めてきました。2025 年 10 月にローマに来たエリック士は、総会の要請に従って（「いのちの約束」、82c 参照）、エルヴェ・ダグボ士（IV）と共に若者の司牧に専念する事務局を設置するよう総長評議員会から要請されました。

私たちは彼がその特徴である、寛大さと熱意をもってこの新しい責務を受諾されたことに感謝します。

良き父、「総長」シャミナード

私たちは皆、「神はそれを見て良しとされた」と繰り返す創世記第一章の創造の物語をよく知っており、六日目の終わりには：「見よ、それは極めて良かった」と記されています。

私たちは、私たちが世話をしなければならない被造物の中にはっきりと示されているこの神の良さを見ますが、キリストが私たちの救いのために十字架上の死に至るまで御自分を低くされたことに示されたその愛において、より一層この神の良さを見ます（フィリッピ書の賛歌を参照）。この良さ、この愛、この慈しみは無償のお恵みです：「私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです」（ローマ書 5・5）。この神の良さの証人となり、この神の良さによって生きることが、私たちの役割です。

シャミナード神父はその良さを、生きた源泉であるキリストの御心とマリアの御心からくみ取りました。この謙遜という徳を身につけることによって、ギョーム・ジョゼフは自分が観想していたものの姿になり、彼がその存在の深みにおいて実際にそうであったものによって、人々の心を動かしました。

彼はこの良さを福音宣教の手段にしました：「私たちは世の人々、特に青少年を、私たちの柔和で、親切で、忍耐強い姿で惹きつけなければなりません。」（手紙 1825 年 6 月 16 日カイエ師宛）

「創立者は、人々の魂をイエスとマリアのもとへ導くために、出会った人々の魂をどのようにしてとらえたのでしょうか。幸いにも彼と生活を共にした人、あるいは身近に彼を知ることができた人は皆、口を揃えて、彼が人々の魂をとらえていたと言っており、弟子の一人によれば、彼は柔和、細やかな気配り、配慮、慈しみ、愛情ある礼節に満ちた熱誠によって人々を惹きつけたと言っています。創立者はこの熱誠のテーマに関して次のようなとても貴重な勧めを私たちに残しています：「信仰に根ざした柔和は、マリア会員同士、会員と生徒、会員と外部の人々との交わりにおいて、香油または香水のような性格をもつものでなければなりません。」（創立の精神 第一巻、日本語訳 P. 62）

シャミナード神父がボルドーのマリアのコングレガシオンで創設したシステムは、「誰一

人失われてはならない」(ヨハネ 6・39 参照) というイエスの教えに応えるものでした。「志願者を獲得するためには、単に信仰の精神と徳への愛を持つだけでは十分ではありません；これらに加えて、優しさ、快適な環境、親切な配慮、びくともせず動じない愛が必要です。私たちは、ちょうど可愛がっている可憐な小鳥を見守るように、志願者を見守らなければなりません：小鳥は何事にも強制されないとき、自由ですが、私たちの親切、善意、食べ物で何かと世話を焼き過ぎるので、自由でなくなるのです。」(創立の精神 第一巻 日本語訳 P. 63)

この同じ心情において、シャミナード神父は生徒たちのために、「救い主のすべての心情とマリアのすべての優しさを挙げて」教師と校長たちが注ぎ込むよう彼らに勧めたのでした。彼は困難に遭遇している生徒たちに自分たちの間で分かち合うよう勧めています：「彼ら生徒たちに対して責任ある人たち、彼らのために祈るはずの人たちはこの生徒たちの回心を促し、彼らの行いをよく指導できるように、聖霊の光を呼び求めます。」

しかし、「ある程度の尊敬と友情を勝ち得ていない生徒の許では、成功はおぼつかないのです。」(手紙 1834 年 2 月 7 日 項目 7 - 8)



エレナ・オテロ夫人(アルゼンチン)、シャミナード神父の取り次ぎにより腫瘍が治癒

シャミナード神父は「父であり、しかも良い父(総長)です。なぜなら、この総長という名前は、はじめから、彼の子供たちの心から自発的に湧き出てきたからです。彼らは皆私のことを父と呼んでいます、事実、私は超自然の秩序において父なのです；時として私はある会員たちに対してとても厳しいということを彼らは知っているけれども、父という名前に、彼らは通常「良い」という言葉を加えます：それは、私が彼らに対して持っている愛、および自然的な優しささえも、上から、神が私に授けてくださっている霊的父性からのみ来るものだ、と、彼らは知っているからです。(手紙 1844 年 9 月 10 日 カイエ神父宛)。クルーゼ修道士には次のように書いています：「あなたと、サン・ルミの私の大切な子供たち一同のため、神が地上であなた方にお与えになる祝福、また全く不肖な者ではありますが、天の御父があなた方にお寄せになる愛を分かち持つ霊父である私の祝福を受けてください。」(手紙 1824 年 4 月 5 日)。マイヤー神父には次のように書いています：「私はあなたの霊的必要を

決して見失わないつもりです。それは、私はあなたの父、あなたは私の息子であると思っていますからです。私はあなたをイエスとマリアにふさわしい者としてお二人にお返ししたいと熱望しています（1832年10月29日）。

その子供たちへのシャミナード神父のこのような絶え間ない配慮、このような気遣いは、ただ霊的なことだけではなく、具体的なものでもありました：最初の会員たちがボルドーからサン・レミに出発する時、シャミナード神父は彼らがお金、リネンなど、必要なものをすべて持っているか確かめました。

私たちは、シャミナード神父が経験した危機を知っています：その最後の10年間のデイヴィッド・モニエ士との、ララン神父との、そして総長評議員たちとの緊張関係：彼は常に親しみやすさを保ちました。彼が神から受けた霊示から逸脱しないという信仰に生きた目標に集中した眼差しを保ちながらも、彼はナルセス・ルッセルを含め、皆を救おうと努めました。

シャミナード神父の父性的な思いやりは別の時代のために作られた時代遅れの態度だ、と考えるようにしましょう；私たちが光輝に包まれた人々、例えば、テゼのブラザー・ロジェとの出会いを、あるいは、レイモンド・ホルター（SM）のような強烈な父性的イメージの反映を体験してきたことは疑いありません。私たちは、マドレーヌ・デルブレ（ムシダン生まれ、1904-1964年）の次の数行の中に、今日、良さを生きることへのこのような招きを見出します。「キリストによって与えられ、キリストから来る心の良さは、「信じない心」に対する（悪いことが起きるよ、という）神ご自身の虫の知らせです。「信じない心」にとって、心の良さは「神に対する未知の味」を持っており、またこの味わいを用いて彼の神との出会いとさせます。「信じない心」にとって、心の良さは尋常ではないこと、神が自分のために存在しているというこの全く奇妙なことに繋がるものです。心の良さは、眠っている彼の心の力、すなわち、彼にとって、彼が自分の中で理解しているその生きている現実にとって知られていない力を目覚めさせ、問題として取り上げます。心の良さは、信じない人の心の中にあるもの、可能性として内面で密かに神へと向かう最も孤独なもの、また最も現代的なものに共感します。（*Atheisms and Evangelization*, Vol. VIII of the Complete Works, Nouvelle Cité 2010, P.150）

この同じテーマに関して、私たちは同様に、哲学者エマヌエル・レヴィナスの“epiphany of the face”を用いて議論することもできるでしょう。

シャミナード神父は、私たちが思っているよりも「近代的な人」です。私たちは一つのフィルター、信仰というフィルターを通してのみ、シャミナード神父を真に理解できるでしょう。信仰によって行動した彼の全生涯、それがカギです。このカギでもう一度彼を理解するようにしましょう、そうしなければ、私たちは彼を理解できないでしょう。

出版物

ファウスティーノ

尊者ファウスティーノの列聖調査に関する報告書はリンクによって 3 か国語で入手出来ます。[ニュースレター第 44 号](#)

内容を読み、分かち合ってくださいようお願いします。

汚れなきマリア修道会総長の回章



私たちは、5月25日に祝った FMI 創立 210 年記念を機に FMI 総長、Sr. スザンナ・キムからの回章 10 号を皆さんと分かち合います。

この回章を読むには次のリンクをクリックしてください：[回章 10 号](#)

総本部の日程

- 6 月 9－15 日：霊生局長、パブロ・ランボー師がカナダ地域共同体を訪問
- 6 月 23－7 月 31 日：霊生局長、パブロ・ランボー師がマリア会後援者会議とスペインでのホリゾン養成プログラムに出席
- 6 月 24－30 日：教育局長、デニス・バウティスタ士が USA 管区集会に出席